

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

---2023年12月26日・第104号---

<目次>

●「ガザ停戦」意見書を否決した川崎市議会の異常

■自衛隊による新百合ヶ丘総合病院での戦傷隊員搬送訓練の監視活動 参加レポート

▲お知らせコーナー

☆1/21 ゆめシネマ「ガザ 素顔の日常」

★編集後記

●「ガザ停戦」意見書を否決した川崎市議会の異常

川崎市議会は、第5回定例会で、共産党市議団が提出した「ガザ地区における即時停戦と人道支援を求める意見書」を、自民、みらい、公明、維新、無所属の議員の反対多数で否決しました。いつもの共産党以外のオール与党のことか、と見過ごすわけにはいきません。

川崎市議会の異常さを告発します。

ガザでの戦闘の停戦とガザ市民への人道支援、ハマスの人質の解放を求める決議や意見書を、全国で166の自治体が採択しています。[soramameさんのX](#)

県内でも、県議会と横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町、座間市、大和町、大磯町、綾瀬町、藤沢市、二宮町の11議会にもなっています。

<横浜市議会～11月30日、全会一致で決議>

決議は具体的な項目として、3つを明記し、内閣総理大臣と外務大臣に届けられました。

1. 人道目的の即時停戦及び人質の即時解放
2. 国際法、国際人権法の順守
3. ガザ地区における人道危機を改善するための、水や食料、燃料、医薬品をはじめとする人道支援物資の供給

<国連総会～12月12日、エジプトが提出した決議案を採択>

採決の結果、186カ国中153カ国(日本も賛成)が賛成し、採択に必要な3分の2以上の賛成で採択。(反対は米国、イスラエルなど10カ国、棄権は23カ国)。

決議では、国連憲章の目的と原則に従って、3項目を要求した。

- 1.人道的即時停戦
- 2.すべての当事者が、特に文民の保護に関して、国際人道法を含む国際法に基づく義務を遵守
- 3.すべての人質の即時無条件解放と人道的アクセスの確保

<神奈川県議会～12月15日、全会一致で決議>

「パレスチナ自治区ガザ地区における人道的対応及び停戦を求める決議」(以下、抜粋)

(前略)本年10月7日のイスラム組織ハマスによるイスラエルへの攻撃を端緒としたハマスとイスラエル軍の戦闘により、多くの民間人が犠牲となっている。

この紛争では、イスラエル軍の攻撃により子供たちを含む民間人が死傷しているほか、ハマスにより罪のない人々が多数人質として拘束されている。

こうした事態を受け、先進7か国(G7)外相は、11月8日、戦闘の人道的休止や人質の即時解放などを支持する共同声明を発表した。(中略)

また、12月12日、国連総会の緊急特別会合において、人道目的の即時停戦を求める決議が採択されている。このような国際社会による事態の收拾に向けた努力は続けられているが、依然として戦闘状態は続いており、状況は不透明である。

神奈川県議会は、国際法に基づく人道的危機の改善に向けた、より一層の取組及び人道目的による停戦を強く求める。

<ガザ停戦意見書を否決した川崎市議会の異常>

ガザ停戦を求める国内外の大きな流れ(都議会も12月20日、全会一致で決議)の中で、12月20日に、川崎市議会がガザ停戦を求める意見書を不採択にしたことに強く抗議します。

市議会は、川崎市民の代表です。そして、会派同士で合意できる文面を練り上げて決議をあげ、川崎市民の平和を求める願いを国の内外に表明することは、川崎市議会の大事な責務ではないでしょうか。

[意見書\(案\)全文](#)

[詳細を報じる共産党市議団のHP](#)

■自衛隊による新百合ヶ丘総合病院での戦傷隊員搬送訓練の監視活動 参加レポート

メルマガ102号(12月12日発行)で、自衛隊総合訓練が川崎でも実施されたことを報じました。この監視・抗議行動に参加した方からの報告です。

<11月13日の監視活動に約35人の仲間と一緒に参加してきました。>

川崎の民間病院が自衛隊の統合演習に使われることは、ほとんど知られていません。
というより全国の演習自体があまり報道されていないようです。

横須賀の自衛隊基地から、ヘリコプター1台が病院の屋上に予定の15時ぴったりに到着しました。

下から見ているのでその後の様子はわかりません、約15分して飛び去りました。

続いて病院駐車場に停めてあった2台の自衛隊の救急車が「救急車両入り口」の方に入って行きました。

この間、私達はステッカーや横断幕、マイクなどを使って抗議活動を続けました。

「自衛隊の民間病院での訓練やめよ！」「自衛隊帰れ！」「戦争準備の訓練許すな！」などと声をあげました。

1時間経過し、16時になっても自衛隊救急車は出て来ませんでしたが、この時点で私達は撤収する事にしました。

川崎市は先月「川崎みなと祭り」で海上自衛隊の訓練支援艦「くろべ」の公開をしたりしています。
川崎市は今日の訓練をどう考えているのでしょうか！

報告 栗原伸元(中原区)

<川崎市への質問と抗議行動>

この抗議行動に取り組んだ市民団体「沖縄の映画を観よう！かわさき」の喜多村憲一さんたちが、この自衛隊統合演習について、川崎市あて「申し入れ」をしましたが回答拒否となりました。

再度、市の対応への抗議文を送ったところ、やっと回答が来ました。川崎市の回答は以下です。

所管課より次のとおり回答させていただきます。

前回の「申し入れ」に対する回答の件ですが、御指摘の演習は、自衛隊と民間病院との間で直接調整されたものであり、川崎市として見解を述べることは差し控させていただきました。

演習の実施に当たり、麻生区にある民間病院において中型ヘリコプター等による訓練を行う旨は関係部署が把握しておりまして、内容等の調整については直接行われたため、本市としては具体

的な調整はありませんでした。

また、主催者である自衛隊が、10月27日に、統合幕僚監部から報道発表を行うことにより、広報及びマスコミへの発表を行ってまいりました。

本市としましては、騒音対応や市民からの問い合わせ対応を行うことが必要であることから、11月2日に、周辺の町内会・自治会などの関係者に情報提供を行ったところでございます。

安全保障や防衛は国の専管事項であり、自衛隊の主催する演習の具体的な中身については、国が責任をもって実施すべきものと考えておりますが、災害をはじめとする様々な脅威から市民の生命・財産を守るための平素からの関係構築や、施設の利用や内容等の事前調整がされる場合の施設や周辺住民への配慮などについて、引き続き連携を図ってまいります。

令和5年12月18日 担当 危機管理本部危機対策部危機対策課

▲ お知らせコーナー

☆ゆめシネマ「ガザ 素顔の日常」

1/21(日)①9時 ②12時 ③15時 ④18時

かわさきゆめホール

一般:1,000円 障がい者:500円 学生以下:200円

044-433-3003 ゆめホール

cinama@kawasakiyume.com

[詳しくはこちら](#)

[予告動画はこちら](#)

★編集後記

24日のニュースで、バイデン大統領がメタニャフ首相と電話会談をしたが、停戦を求めなかったと報道されました。

岸田首相がメタニャフ首相と電話会談をしたときも停戦を求めませんでした。

一方、世界中で、また、日本国内でも、停戦を求めて多くの市民が声を上げています。そしてその声が、国連総会や、日本国内の自治体でも多くの決議として実っています。

川崎市議会が停戦を求める意見書を否決したことは許せません。平和を求める世論をもっともっと大きくしなければいけないときです。

メルマガを始めてから満2年を迎えます。

ロシアがウクライナへの侵攻を始めたのが2022年2月24日。

そして2023年10月7日にハマスがイスラエルに奇襲攻撃を仕掛けてイスラエルによるパレスチナ略奪戦争に火が付きました。

市民の目はどうしても戦争に向きがち。「戦争の悲劇を考えたら多少の不満はガマン」と思ってしまうそうです。

市民一人ひとりの幸福を追求する活動と、世界平和を願う活動はひとつながり。

今年もやり残したことがいっぱいありますが、「来年こそ」と決意を新たに年の瀬を迎えたい(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/bdrwbsmaIwei?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp